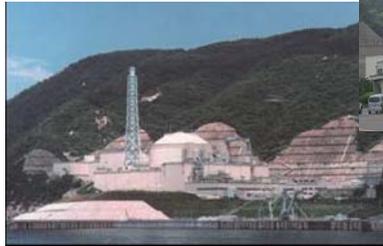




技術交流情報



平成29年 1月10日

【技術成果の展開】「和」の雰囲気新技术で — 平成28年度 展示会への出展 —

原子力機構が進める技術成果の展開を皆様に広く知っていただくため、今年度も様々な展示会に出展をさせて頂きました。福井県内を始め、金沢、大阪といった各地で開催された展示会で、来場いただいた多くの方に機構の活動をご紹介しますことが出来ました。

今年度は、新たに福井県の伝統的工芸品である越前筆笥をモチーフとしてデザインされたキャリーバックを出展いたしました。元々筆笥職人が開発を進めていたもので、飛行機内に持ち込めるサイズ、軽量化という課題に対して、機構が協力・支援し取組んだものです。桐板に特殊な樹脂を含浸させて、放射線照射によりウッドプラスチックとした素材で、薄板でも強度があり、かつ軽量化されたユニークな製品です。(写真1)



(写真1)

また、敦賀市内の企業と機構の特許(植物活力剤)を活用して進めている粉末乾燥苔(商品名「ふりこけサッサ®」)を使い、手軽にミニ盆栽づくりを体験してもらうコーナーを設置し、大盛況となりました。(写真2)



(写真2)

これからも各地の展示会に出展させて頂き、機構で開発された技術を紹介しながら、企業との技術交流を深めて行けるように活動して参ります。

<展示会での様子>

【原子力機構の技術相談】機構技術で企業の技術課題を解決!!

原子力機構は、研究開発成果が広く社会に活用されることをもって、より多くの社会貢献ができることから、技術移転による成果普及を大きな業務の柱と位置づけ取組んでいます。機構の“技術相談”では、機構のビジネスコーディネーターがそれぞれの専門知識や技術知見に基づき、地域企業からの技術相談にP個別に対応し、**機構の技術で企業の課題解決を支援**します。

相談件数：431件 (H16年～H28年末)

- 原子力機構は、ほぼ半世紀にわたる研究成果として、多くの特許や実用新案を保有
- これらの知的財産の中には、電気、機械、化学、繊維、金属、レーザーなど、原子力とは直接関係のない産業でも利用できる、さまざまな分野の技術が存在
- こうした特許技術などを広く地域企業に提供し、企業の技術課題の解決や、製品化への展開を進めることで、研究成果の社会貢献に取り組んでいます



<技術相談の様子>

- ・特許の紹介や利用のアドバイス
- ・技術アドバイス
- ・技術情報の紹介 等

敦賀事業本部以外にも、敦賀商工会議所、セーレン福井本社ビル内に技術相談窓口を設置しております。まずはお問合せください。

問合せ先：原子力機構 敦賀事業本部
TEL 0770-21-5033 FAX 0770-21-5090 <http://jaeasoudan.jp>

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構
敦賀事業本部 敦賀連携推進センター 産学連携推進室
〒914-8585 福井県敦賀市木崎65-20
TEL: 0770-21-5033 FAX: 0770-21-5090 <http://jaeasoudan.jp/>